京都看護助産学校

副学校長
池田　仁美
平成31年3月31日まで

副学校長
前中　由美
平成31年4月1日から

助産学科　教育主事
伊藤　美栄

看護学科　教育主事
釘宮　泰子
平成31年3月31日まで

看護学科　教育主事
伊藤　睦美
平成31年4月1日から

看護学科　教育主事
谷口　秀美

□教育理念

感じる心、考える力、主体的な行動

人間愛を基盤とし、生命の尊厳と人権の尊重ができる感性豊かな人間性を育てることに主眼をおき、看護専門職として必要な基礎的知識、技術、態度を習得し、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

□教育目的

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

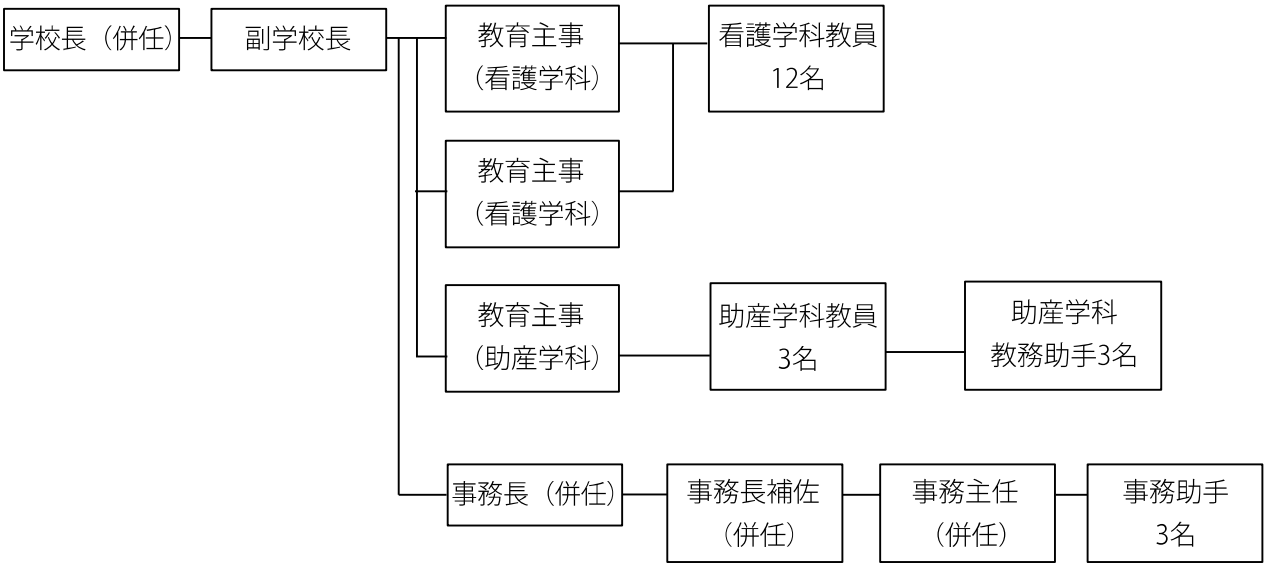
□教育目標

1. 生命の尊厳と個々の人権を尊重できる感性豊かな人間性を養う。
2. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養う。
3. 看護師としての責務を自覚し、倫理に基づいた看護を実践する。
4. 科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する基礎的能力を養う。
5. 健康の保持・増進、疾病の予防および健康の回復に関わる看護を、健康状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割および他職種の役割を理解し、他職種と連携・協働する基礎的能力を養う。
7. 社会の動向に関心を持ち、常に主体的に看護を探求する姿勢と自己研鑽し続ける能力を養う。

□課程・定員

課程	学科	入学定員	総定員	在籍者数（平成31年3月1日）			
				1年生	2年生	3年生	合計
看護専門課程	看護学科（3年課程）	80人	240人	75人	90人	76人	241人
看護専門課程	助産学科（1年課程）	25人	25人	22人			22人
計		105人	265人	97人	90人	76人	263人

□本学の組織



□平成30年度　部門目標

部門目標		30年度重点目標
1	国立病院機構及び地域に貢献できる優秀な人材の確保と育成	広報活動の推進（リアルタイムな情報発信、学生の意見・教員の意見　掲載）
		臨床との連携による看護実践教育の充実 ①実習指導者会活動の活性化　②演習授業への指導者の参加促進
		国立病院機構への就職率看護学科70%以上、助産学科50%以上
		国家試験合格率が当該年度の国立病院機構全国平均以上 ①1年次からの国家試験対策　②実習学習とリンクする国家試験対応
2	学生が主体的に学ぶ力を育成できる教育実践能力の向上	自己の研究テーマを持ち、研究に取り組む
		研修、学会等への参加により自己啓発を図る
		専門領域等の実務研修に1回以上参加し最新の知識・技術を吸収する
		自校・他校における研究授業に参加し、授業方法を研鑽する
		当校における授業研究での意見交換等により他科目との関連を理解する
3	学生にとって学びやすい学校組織の充実	教員の担任制から担当制へ　～全員で学生にかかわる組織づくり～
		学生による授業評価から課題を明確にし、改善に取り組むと共に学生に公表する
		継続的な自己点検・自己評価（及び第三者評価）を実施し、学生・保護者へ公表
		卒業時カリキュラム評価の目標平均値3.0以上
4	学校経営基盤の安定化	業務の可視化をはかり、連携・調整により超過勤務の減少に努める
		経費節減に取り組み、無駄な支出を減らす

□平成30年度プロジェクト活動

コストパフォーマンスプロジェクト	
メンバー	仙波伊知子（リーダー）、住田尚子、寺田博子、中溝好美、林田聖子、谷口秀美
活動課題	1．時間のコスト意識：業務の計画的な遂行、超過勤務の減少と人件費削減 2．物品の有効活用： 3．学校の特色のPR活動 4．ムダをなくす
活動内容	1．超過勤務時間の見える化や業務調整の声掛け 2．シミュレーター教材の作成・活用説明、標本物品の活用計画 3．PR内容を考案、京都府看護学校補助金の確保 4．学校の収支状況の把握、コストの見える化、省エネ行動の動機づけ、計画的な教材購入の検討
成果	・コストの見える化（収支状況・超過勤務時間・光熱通信費）、資料のペーパーレス化と計画的な物品購入・整備を図ることにより支出を抑制することができた。 ・各種シミュレーターの作成、講師用標本作成、使用しない物品（水銀使用物品）の廃棄処分により、効率・効果的な教材の活用・整備を図ることができた。

危機管理プロジェクト	
メンバー	稲垣寿美（リーダー）、北井英子、榮 圭子、中村なぎさ、伊藤智美、釘宮泰子
活動課題	地震時、火災時、風水害時の（防災）マニュアルを作成する。
活動内容	1．地震時・火災時・風水害時それぞれの（防災）マニュアル作成 2．緊急連絡網・緊急連絡体制の検討・確立 3．定期的日常的な安全点検の方法の検討・確立 4．学生・教員の備蓄品の内容と保管場所の検討・確立 5．教職員の研修計画の検討・実施
成果	1．地震時・火災時・風水害時それぞれのマニュアルの検討を行い、完成した。 2．緊急連絡網・緊急連絡体制の検討をおこない、病院のシステムに乗せてもらうこととなった。現在病院のシステム確立を待っている状況。 3．定期的日常的な安全点検の方法の検討を行い、安全点検表を作成した。 4．学生・教員の備蓄品の内容と保管場所の検討を行い、備蓄品の購入保管をした。 5．教職員の研修計画の検討と研修会の企画を行い、3月に実施した。

情報管理プロジェクト	
メンバー	近藤尚子（リーダー）、大上寿子、太田恵子、寺田美鳥、伊藤美栄
活動課題	1．文書管理の管理方法に関するマニュアルの作成 2．情報セキュリティマニュアルの完成 3．プロジェクト終了後も文書管理が継続されるようなルール化とシステムづくり
活動内容	1．文書管理について 1）文書管理規程に基づく文書ファイル等の整理、管理マニュアルの作成 2）文書管理規程に基づく廃棄文書の整理と廃棄 2．情報管理について 1）共通フォルダ内のデータ内容の整理とHDDへのバックアップ作業 2）教務室内のUSBの整理と管理方法の検討 3）情報セキュリティマニュアルの内容の検討
成果	1．「法人文書管理簿」「機密文書管理簿」を完成させ、年度末には各種文書ファイルの整理と文書廃棄をした。 2．　8月のサーバー更新によりシステムダウンのリスクは軽減した。共通フォルダ内の標題作成等のルール化はできなかった。情報セキュリティマニュアルは作成継続が必要。

□学生募集

入学試験実施状況

看護学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	平成31年1月24日(木)	平成31年1月26日(土)	平成31年1月31日(木)
社会人入試	平成30年11月14日(木)	平成30年11月16日(土)	平成30年11月21日(木)
公募推薦入試	平成30年11月14日(木)	平成30年11月16日(土)	平成30年11月21日(木)
推薦入試	平成30年11月15日(木)		平成30年11月21日(木)

助産学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	平成31年1月24日(木)	平成31年1月26日(土)	平成31年1月31日(木)
特別選抜入試	平成30年11月15日(木)		平成30年11月22日(木)

□入学状況

＜看護学科＞

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成28年(第15回生)	推薦	16	16	16	16		
	社会人	23	22	10	10		
	一般	69	69	56	44(4)	1	
	合計	108	107	82	70		70
平成29年(第16回生)	推薦(学校)	10	10	10	10		
	推薦(公募)	25	25	24	24	1	
	社会人	28	28	16	15		
	一般	106	103	65	39	1	
	合計	169	166	115	88	2	
平成30年(第17回生)	推薦(学校)	19	19	19	19	1	
	推薦(公募)	24	24	20	20		
	社会人	13	13	6	6		
	一般	102	100	55	32	1	
	合計	158	156	100	77	2	
令和元年(第18回生)	推薦(学校)	19	19	19	19		
	推薦(公募)	17	17	15	15		
	社会人	18	18	12	12		
	一般	80	76	58(3)	39		
	合計	134	130	104(3)	85		

(　　)内補欠合格者

＜助産学科＞

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成28年(第48回生)	特別選抜(学校)	8	8	8	8		8
	特別選抜(施設)	3	3	3	3		3
	一般	73	63	19(1)	13(1)		13(1)
	合計	84	74	30	24		24
平成29年(第49回生)	特別選抜(学校)	11	11	11	11		11
	特別選抜(施設)	0	0	0	0		0
	一般	58	54	18	14	2	12
	合計	69	65	29	25	2	23
平成30年(第50回生)	特別選抜(学校)	10	10	10	10		10
	特別選抜(施設)	1	1	1	1		1
	一般	60	53	11(4)	11(1)		11(1)
	合計	71	64	22	22		22
令和元年(第51回生)	特別選抜(学校)	14	14	9	9		
	特別選抜(施設)	2	2	1	1		
	一般	45	35	8(3)	8		
	合計	61	51	18(3)	18		

(　　)内補欠合格者

□学生募集活動(ガイダンス)

月	日	曜	内容	場所	出席者	実績数
4	13	木	TAP主催進学説明会(京都精華学園高等学校)	京都テルサ	中村なぎさ	5
	23	月	進学相談会(さんぽう)	天王寺ミオ	池田仁美	6
	28	土	就職・就学フェア(京都府看護協会)	みやこめっせ	池田仁美 谷口秀美	40
	29	日	進学相談会(さんぽう)	メルパルク京都	釘宮泰子	13
5	16	金	ケーホウ主催進学相談会(府立亀岡高校)	亀岡高校	釘宮泰子	11
	16	金	鳥取城北高校(教員対象)	当校	谷口秀美	3
6	1	金	TAP主催進学説明会(京都廣学館高等学校)	けいはんなホール	太田恵子	3
	10	日	進学相談会(さんぽう)	梅田スカイビル タワーウエスト	中村なぎさ	11
	25	月	高校2年生　看護コース対象説明会 (京都聖母学院高等学校)	京都聖母学院高等学校	中村なぎさ	
7	11	水	進学相談会(昭栄広報　府立北嵯峨高等学校)	みやこめっせ	釘宮泰子	12
	13	金	高等学校と看護系教育機関との進路研修会	光華女子大学	中村なぎさ	
8	8	水	学校説明会	宇多野病院	寺田博子	
	9	水	学校相談会(京都予備校)	京都予備校	池田仁美	41
3	13	水	TAP主催進学説明会(大津高校)	ピアザ淡海	中村なぎさ	5

□オープンキャンパス

看護学科	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催回数	6回	6回	6回
参加者延人数	270人	304人	277人

助産学科	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催回数	3回	3回	3回
参加者延人数	140人	146人	198人

□卒業生の進路

＜看護学科＞

年度	回生	卒業者数	就職						進学				未就職
			国立病院機構		官公立	法人	その他	看護職以外	保健師	助産師	養護教諭	大学	
			自施設	他施設									
平成25年度	第10回生	80	32	28	3	3	0	0	0	9	0	5	0
平成26年度	第11回生	70	36	24	3	1	0	0	0	4	0	2	0
平成27年度	第12回生	69	41	18	1	0	4	0	0	3	0	2	0
平成28年度	第13回生	82	43	29	1	0	2	0	0	6	0	0	1
平成29年度	第14回生	87	42	29	4	3	3	0	0	6	0	0	0
平成30年度	第15回生	73	22	29	11	3	0	0	0	4	0	1	3

＜助産学科＞

年度	回生	卒業者数	就職						進学	未就職
			国立病院機構		官公立	法人	その他	看護職以外		
			自施設	他施設						
平成25年度	第45回生	24	6	10	6	2	0	0	0	0
平成26年度	第46回生	25	4	10	8	3	0	0	0	0
平成27年度	第47回生	23	4	9	7	2	0	0	0	1
平成28年度	第48回生	24	4	9	6	5	0	0	0	0
平成29年度	第49回生	23	2	10	5	6	0	0	0	0
平成30年度	第50回生	22	2	7	8	5	0	0	0	0

□国家試験合格状況

＜看護学科＞

		全体（%）	機構附属（%）		
			全国	近畿	本校
105回（H28.3）	全体（新卒）	89.4（94.9）	98.0（98.4）	99.4	100
106回（H29.3）	全体（新卒）	88.5（94.3）	88.5（94.3）	98.6	96.8
107回（H30.3）	全体（新卒）	91.0（96.3）	98.4（98.8）	99.7	100
108回（H31.3）	全体（新卒）	89.3（94.7）	97.3（98.1）	99.0	95.9

＜助産学科＞

		全体（%）	機構附属（%）	
			全国	本校
99回（H28.3）	全体（新卒）	99.8（99.8）	100	100
100回（H29.3）	全体（新卒）	99.8（99.8）	100	100
101回（H30.3）	全体（新卒）	98.7（99.4）	100	100
102回（H31.3）	全体（新卒）	99.6（99.9）	100	100

□学会発表（院外）

日程	学会名	テーマ	研究者（○発表）
H30.5.26	第74回日本助産師学会	「マイ助産師制度」の実現に向けた活動報告（第1報）～出産ケア政策会議の研修生募集から国会議員へのロビイング活動・成果報告まで～	○他校教員 林田聖子 （ポスター）
		「マイ助産師制度」の実現に向けた活動報告（第2報）～マイ助産師制度とは～	○他校教員 林田聖子 （ポスター）
		「マイ助産師制度」の実現に向けた活動報告（第3報）～実現に向けた第一歩：研修生による活動実践報告～	○他校教員 林田聖子 （ポスター）
		「マイ助産師制度」の実現に向けた活動報告（第4報）アンケート集計結果報告	○林田聖子 他校教員 （ポスター）
H30.8.28	第28回日本看護学教育学会	分娩期の臨床推論学習プログラムの評価	○伊藤美栄 （ポスター）
H30.8.29	第28回日本看護学教育学会	看護専門学校教員のアクティブラーニング型授業の認識と学習パラダイムの関連	○谷口秀美 （口述）
		基礎看護学実習において学生はどのような経験を振り返るのかー学生アンケートの結果よりー	○釘宮泰子 （ポスター）
H30.9.8	ICM地域学術集会2018（ドバイ）	The challenge of implementing “My midwife system”:advocating for continuity of case of Japan	○他校教員 林田聖子 （口演）
H30.10.19	第59回日本母性衛生学会	実習時期別にみた助産学生の分娩期ケア能力の到達度	○北井英子 伊藤美栄 （ポスター）
H30.11.9	第72回国立病院総合医学会	統合実習における「学生によるチーム実習」の学びと課題	○住田尚子 （ポスター）
H30.11.9	第72回国立病院総合医学会	医療事故シミュレーション演習の学びと課題	○寺田博子 （ポスター）
H30.11.10	第72回国立病院総合医学会	中堅看護教員研修「学校の危機管理」の実践報告	○伊藤美栄 他校教員 （口演）
H30.11.10	第72回国立病院総合医学会	シンポジウム：患者・家族の意思決定支援を支える看護のあり方 「意思決定支援に対する看護師の困難感の軽減につながる教育方法の検討」	○榮　圭子 （ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ）
H30.12.8	第16回国立病院看護研究学会学術集会	看護学生の学校生活における危機に対する意識と行動の実態調査	○他校教員 中溝好美 住田尚子 （ポスター発表）

日程	学会名	テーマ	研究者（○発表）
H30.12.8	第 16 回 国立病院看護研究学会 学術集会	生活環境からイメージしている対象理解のための内容 ～訪問看護実習における学生へのインタビューを通して～	○太田恵子 仙波伊知子 他校教員 （ポスター発表）
H30.12.8	第 16 回 国立病院看護研究学会 学術集会	学校運営マニュアル活用状況に関する調査と今後の課題	○他校教員 寺田　美鳥 （ポスター発表）
H31.3.2	第 33 回 日本助産学会	助産師教育課程終了時の分娩期ケア OSCE のトライアル～臨床推論を組み込んだ課題設定と評価表の開発～	○伊藤美栄 他校教員 （ポスター発表）
		助産師教育課程終了時の分娩期ケア OSCE のトライアル～臨床推論を組み込んだ OSCE の学生から見た評価～	○他校教員 伊藤美栄 （ポスター発表）
		多施設協働での臨床推論を組み込んだ OSCE 実施への取り組み	○他校教員 伊藤美栄 （ポスター発表）

□共同研究活動

研究課題	活動実績	研究者（○代表者）
OSCE による助産師教育課程修了時の到達度評価	・神戸市看護大学紀要論文投稿 1 編 ・研究成果まとめおよび学会報告 （日本助産学会 3/2）	伊藤美栄 （他施設） ○神戸市看護大学 8 名 同志社女子大学 2 名
出産ケア政策会議研修会	・活動成果報告 日本助産師学会 4 題、ICM1 題 ・マイ助産師制度の実現に向けたロビイング活動	林田聖子 （他施設） ○佛教大学　1 名 日本妊産婦支援協議会他

□執筆・論文投稿

収蔵誌	出版社	タイトル	教員（○筆頭）
助産師　2018.8 Vol.72 No.3	公益社団 法人 日本助産師 会機関紙	助産師教育機関紹介シリーズ 京都医療センター附属京都看護助産学校　助産学科 （紹介記事）	○伊藤美栄
神戸市看護大学紀要　第 23 巻 p13-22 2019	神戸市看護大学	臨床推論を組み込んだ分娩期 OSCE の評価～助産師教育課程修了時の学生の視点から～	○他校教員 伊藤美栄

□院内成果発表

日程	テーマ	研究者（○発表）
H31.2.23	実習時期別にみた助産学生の分娩期ケア能力到達度	○北井英子、林田聖子、伊藤美栄（ポスター発表）
H31.2.23	実習前の妊婦健診 OSCE がもたらす助産学生への教育効果の検討	○伊藤美栄、北井英子、林田聖子 田仲有季子 （ポスター発表）
H31.2.23	母性看護学実習におけるリプロダクティブヘルス／ライツの学びの内容	○住田尚子、北井英子、林田聖子（ポスター発表）
H31.2.23	平成 30 年度　実習指導者会議における取り組み	○中溝好美、近藤尚子 仙波伊知子、榮圭子、寺田美鳥 釘宮泰子（ポスター発表）
H31.2.23	学生の非常時における判断・行動力を養うための取り組み	○中村なぎさ、太田恵子 （口述発表）

□授業研究

日程	授業内容	教員
H30.10.26	統合実習におけるカンファレンスの　検討	稲垣寿美
H30.11.26	基礎看護技術Ⅴ（検査）校内公開授業	榮　圭子
H30.12.4	老年看護援助技術：排泄（演習）　教育担当師長研修公開授業	伊藤智美
H30.12.6	看護の統合と実践Ⅳ 教員研修会公開授業	太田恵子
H30.12.13	看護の統合と実践Ⅳ 教育担当師長研修公開授業	太田恵子
H31.2.5	老年看護援助技術：薬物療法 教員インターンシップ研修公開授業	伊藤智美
H31.2.18	助産学科　卒業前演習「分娩介助 OSCE」	伊藤美栄、北井英子、 林田聖子 （外部参加者） 神戸市看護大学　１名

□教員研修会　研究活動

	テーマ	教員
合同 1G	学校運営マニュアル活用状況に関する調査と今後の課題	○他校教員　寺田　美鳥
合同 2G	看護専門学校における臨地実習での看護援助の経験と学生の困難感の実態調査	○他校教員　大上　寿子
合同 3G	臨地実習で初めて看護過程の展開を行った学生の困難感についての調査	○ 中村なぎさ
合同 4G	生活環境から対象理解するための訪問看護実習前研修の導入の成果	○太田　恵子 仙波伊知子
京都 1G	教員の防災に対する意識と効果的な防災教育の検討	○稲垣　寿美 中溝　好美　榮　圭子
京都 2G	母性看護学実習におけるリプロダクティブヘルス／ライツの学びの内容	○住田　尚子 北井　英子　林田　聖子
京都 3G	アクティブラーニングを取り入れた教育方法の検討	○寺田　博子 近藤　尚子　伊藤　智美

□研修受講

1）中堅看護教員研修（主催：副学校長・教育主事協議会）

日程	研修内容	担　当	参加者
平成30年9月20日	副学校長・教育主事協議会 平成30年度 第1回中堅看護教員研修 「カリキュラム開発」グループ討議	伊藤美栄 谷口秀美	太田恵子 寺田美鳥

2）1,2年目教員研修（主催：副学校長・教育主事協議会）

日程	研修内容	担　当	参加者
平成30年5月31日	平成30年度1・2年目教員研修 ・経験学習シートによる自己の授業の振り返り ・Good jobカードによるフィードバック ・授業研究の参観と学びの共有 ・「教育実践場面で困っていること、判断に困る場面の共有」	池田仁美 釘宮泰子	林田聖子 伊藤智美
平成30年10月29日	平成30年度1・2年目教員研修 ・授業案の検討および発表、グループ討議 ・経験学習シートの発表、共有	池田仁美 釘宮泰子	伊藤智美

□実務研修

日程	研修内容		教員
平成30年8月6日 ～8月7日 2日間	NHO宇多野病院	神経変性疾患のある患者の看護の実際 家族支援や退院支援の実際	伊藤智美
平成30年8月9日 1日間	NHO京都医療センター	2-4病棟での看護実践	寺田博子
平成30年8月14日 1日間	NHO京都医療センター	病院内におけるチーム活動（呼吸ケアチーム・認知症ケアチーム）	榮圭子
平成30年8月14日 1日間	あそかビハーラ病院	終末期の看護の実際	太田恵子 中溝好美
平成30年8月15日 9月10日 2日間	NHO京都医療センター	教育師長へのシャドーイング実務研修の見学	住田尚子
平成30年8月16日 1日間	NHO京都医療センター	医療安全係長へのシャドーイング	稲垣寿美
平成30年8月17日 1日間	NHO京都医療センター	医療安全係長へのシャドーイング	大上　寿子
平成30年8月21日 1日間	NHO京都医療センター	地域連携支援センターにおける退院支援の実際	中村なぎさ
平成30年9月　3日 9月11日 2日間	NHO京都医療センター	手術室実習指導の実際	寺田　美鳥
平成30年　9月10日 1日間	NHO京都医療センター	卒後教育の実際（1年目研修の実際）	近藤尚子

2）学内講習会

日程	研修内容	担　当	参加者
平成30年5月9日	講義「臨床推論と学習プログラム」	伊藤美栄	看護職員26人 教員　　7人

□公開講座

日　程	テーマ	参加者数
平成 30 年 6 月 24 日（日）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	27 人
平成 30 年 7 月 29 日（日）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	60 人
平成 30 年 8 月 19 日（日）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	66 人
平成 30 年 9 月 9 日（日）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	24 人
平成 30 年 10 月 27 日（土）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	34 人
平成 30 年 10 月 27 日（土）	公開講座「自然災害への備え　～防災への意識と健康の維持について考えよう～」	10 人
平成 30 年 9 月 15 日（土）	性教育講座（小中高生対象） 「出逢うキセキ　生まれるキセキ」	12 人
平成 30 年 9 月 30 日（土）	ファミリー教室（妊産婦とその家族） 「Happy Family　Happy　Life～家族で育てよう新しい命～」	7 人
平成 30 年 7 月 13 日（土）	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	48 人
平成 30 年 8 月 19 日（土）	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	117 人
平成 30 年 9 月 1 日（土）	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	33 人
	合計	438 人

□講習会、研修等の講師派遣

日程	研修内容	教員
平成 30 年 6 月～7 月	近畿グループ 平成 30 年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会　講義講師	池田仁美（1 回） 釘宮泰子（1 回） 谷口秀美（1 回）
	近畿グループ 平成 30 年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 演習指導案助言講師	仙波伊知子
平成 30 年　5 月 9 日 6 月 6 日 12 月 12 日	京都医療センター附属 京都看護助産学校 実習指導者研修プログラム （第 1 回～第 3 回）	池田仁美 釘宮泰子 谷口秀美 仙波伊知子 中溝好美 榮圭子 寺田博子
平成 30 年 9 月 20 日	副学校長・教育主事協議会 平成 30 年度 第 1 回中堅看護教員研修 グループ討議　助言講師	伊藤美栄 谷口秀美
平成 30 年 11 月 10 日（土）	第 72 回国立病院総合医学会 シンポジウム座長：患者・家族の意思決定支援を支える看護のあり方	釘宮泰子

日程	研修内容	教員
平成30年12月26日	近畿グループ　平成30年度 中堅看護教員研修 グループ討議　助言講師	池田仁美 伊藤美栄 谷口秀美
平成30年7月7日 平成31年1月31日	京都母性衛生学会理事会（全2回） 理事 会計副委員長 会計委員	 伊藤美栄 林田聖子 北井英子
平成30年8月2日～3日	公益社団法人）全国助産師教育協議会 助産師教育研修研究センター主催 ファーストステージ研修　講師 「助産師教育方法論-教育評価-」 10時間　受講者15名	伊藤美栄
平成30年5月25日 配信期間： 2018.7.2-2019.1.31	一般財団法人）日本助産評価機構 助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度 研修プログラム e-ラーニング 必須研修「臨床推論」オンデマンドコンテンツ講師	伊藤美栄

□研修生受け入れ

日程	研修内容		受け入れ数
平成29年10月17日 ～10月20日	教員インターンシップ	近畿グループ主催	1人
平成29年10月23日	教員インターンシップ	副学校長・教育主事協議会主催	1人

看護学科

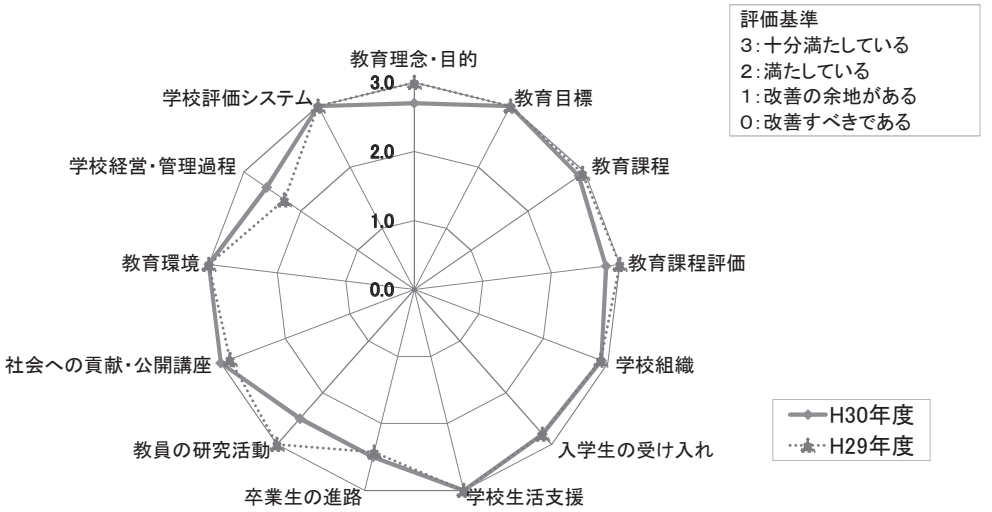
平成30年度　学校評価結果

独立行政法人国立病院機構　京都医療センター附属京都看護助産学校

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

平成年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。



平成30年度　看護師養成所自己点検・自己評価結果
（看護学科）

	評価項目	評価の視点	H30年度	H29年度
Ⅰ	教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	2.7	3.0
Ⅱ	教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	3.0
Ⅲ	教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	2.9	3.0
Ⅳ	教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	2.8	3.0
Ⅴ	学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	2.9	2.9
Ⅵ	入学生の受け入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	2.8	2.8
Ⅶ	学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	3.0	3.0
Ⅷ	卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	2.5	2.4
Ⅸ	教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	2.5	3.0
Ⅹ	社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	3.0	2.9
ⅩⅠ	教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	3.0	3.0
ⅩⅡ	学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	2.6	2.3
ⅩⅢ	学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	3.0
		全　体　平　均	2.8	2.7

助産学科

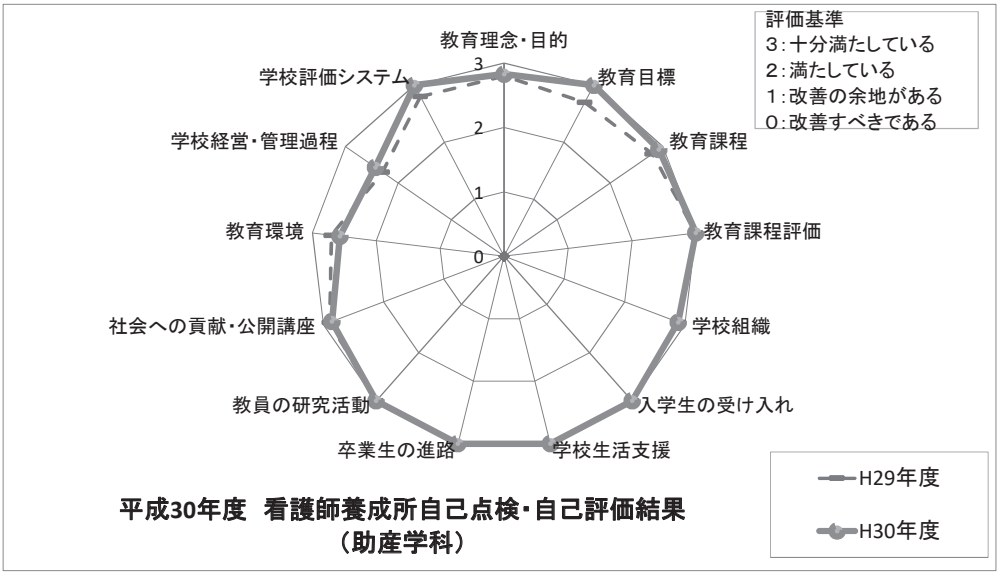
平成30年度　学校評価結果

独立行政法人国立病院機構　京都医療センター附属京都看護助産学校

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

平成29年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。



平成30年度　看護師養成所自己点検・自己評価結果
（助産学科）

	評価項目	評価の視点	H30年度	H29年度
Ⅰ	教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	2.8	2.8
Ⅱ	教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	2.7
Ⅲ	教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	2.9	2.8
Ⅳ	教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	3.0	3.0
Ⅴ	学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	2.9	2.9
Ⅵ	入学生の受け入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	3.0	3.0
Ⅶ	学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	3.0	3.0
Ⅷ	卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	3.0	3.0
Ⅸ	教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	3.0	3.0
Ⅹ	社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	2.9	2.9
ⅩⅠ	教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	2.6	2.7
ⅩⅡ	学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	2.4	2.3
ⅩⅢ	学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	2.8
		全　体　平　均	2.9	2.8